



きざし

勝田第二中学校 学校だより 第20号

令和8年10月9日（金）発行

文責：校長 川上徹行

勝田二中HP ↓

<https://hitachinaka.scho>

<olweb.ne.jp/0820010?tm>

=20260324163759

前期終了、後期に向け自分の「目標」をより明確に！

今週の連休を境に、今年度の前・後期が切り替わります。ひたちなか市では、年度を前期と後期に分けた2期制を採用しています。中学校3年間で見ると6期に分けられ、1年生は6分の1を、2年生は中学生生活のちょうど半分を終えたことになります。そして3年生は、残り6分の1となりました。「光陰矢のごとし」とは、まさにこういうことですね。

前期の通信票の評価や各自の振り返りなどから、次の課題を見つけ、「なりたい自分」をより意識し、自分の可能性を信じて、努力を継続して“学び”続けてほしいです。

子供たちの健やかな成長のために、今後も保護者並びに関係者の皆様の応援やサポートを、よろしく願いいたします。※ 保健室の養護教諭の産育休加配として、養護助教諭が10/1より本校で勤務しております。(写真右下参照)



終業式では以下の代表生徒が振り返りを発表しました。詳細は、学年通信に掲載されますのでご覧ください。

- ・ 1年 ()
- ・ 2年 ()
- ・ 3年 ()

終業式式辞として、以下の話（要約）をしました。

猛暑と長雨も落ち着き、季節は秋を迎えました。生活リズムを整え、心身ともに健康な状態で学びに向かってほしいと思います。

終業式では、代表生徒の振り返り発表を通して、自分の取組を振り返り、課題を明らかにして次の目標につなげることの大切さを伝えました。また、先日の新入大会で、試合に出場しない生徒たちが準備やウォーミングアップのサポートなど、献身的にチームを支える姿を目にしました。一人一人が力を発揮するためには、互いに目標に向かって専念できる雰囲気大切です。そして、その雰囲気は、日々のちょっとした行動や言葉かけによってつくられます。

今年度の前期が終わり、中学校生活も一つの節目を迎えました。これからも自分の「なりたい自分」を明確にし、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。うまくいかないことがあっても、「自分は、それでも大丈夫」という気持ちを持ち、生徒会スローガン「わ」のように、仲間とともに乗り越えながら、一步ずつ成長していくことを願っています。

勝田二中での3年間で、とても有意義だったと思えるように。これが、私の願いです。

【式中や表彰、壮行会での生徒たち、引渡し訓練の様子】

